

令和2年度 事業者職員向け 放デイ自己評価表(3だー)

事業所の強みや改善目標、目標に向けてどのような取り組みを行うか、できるだけ詳細に記載する。

| | | 回答欄(あてはまるものに○をつけて下さい) | | | |
|----------|----|---|----|-----|--|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。 | 4 | 1 | ・体を動かす活動の際は、テーブル、椅子を移動し、広いスペースを確保している。児童の体型により狭く感じることもある。 ・障害特性によっては、一時的に足りないと感じる場面がある。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 5 | | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 1 | 4 | ・段差や歩きづらい所がある。 ・足元・歩行が不安定な児童には職員が必ずつくようにしている。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためにもPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 4 | 1 | ・事業所ミーティングとは別に小ミーティングを設けているが、全体では実施できていない。 |
| | 5 | 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 5 | | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やHP等で公開しているか | 4 | | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 1 | 3 | ・外部評価をされる機会がない。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 4 | 1 | ・例年より研修に行くことができていない。 |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 5 | | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、研修の機会を確保しているか | 3 | 2 | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 5 | | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 3 | 2 | ・コロナの影響もあり、固定された活動が多い。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 2 | 5 | ・大きな目標はあるが、児童各目にはできていないことがある。 ・課題を設定しているが、同じような内容になっている。 ・1日活動での細かい設定ができていない。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 5 | | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援内容や役割分担について確認しているか | 4 | 1 | ・1日活動では、確認の時間が設けられていない。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか | 1 | 3 | ・支援後の打ち合わせはできていない。 ・特記があった際に振り返りをしている。 |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|--------------------------|----|--|----|-----|--------------------------------|
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 5 | | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 5 | | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか | 5 | | |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい人が参画しているか | 2 | 2 | |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 4 | 1 | ・学校とはなく、保護者からの情報として確認している。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 1 | 3 | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育園や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | | 3 | ・事業所に入る前までの状況を知らないことがある。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | | 4 | ・情報の提供をすべて行えていない。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 1 | 3 | ・支援センターとの連携は少なく、研修の機会もない。 |
| | 26 | 放課後等児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか | | 4 | ・ほとんどのクラブや他者との関わりはない。 |
| | 27 | 協議会等へ積極的に参加しているか | | 4 | ・参加できていない |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか | 3 | 1 | ・送迎/面談時に情報共有をしているが、時折情報のずれがある。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | | 4 | ・ペアレントトレーニング等の支援はできていない。 |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|------------|----|---|----|-----|--|
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 2 | 1 | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 2 | 2 | |
| | 32 | 父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | 4 | ・コロナの影響もあり、保護者会は開催できていない。 ・開催の企画はあったが、社会状況により中止 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 4 | | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 5 | | ・ブログで活動を紹介している。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 5 | | |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 5 | | ・連絡手段として電話の他にメールも使用している。 |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 4 | 1 | ・ハロウィン・クリスマスにてイベントを企画、実施 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 4 | | |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 4 | 1 | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 5 | | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画を記載しているか | 4 | 1 | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 3 | 2 | |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 4 | 1 | ・事例はあるが、共有できていない。 |